

三重県内経済情勢（平成 22 年 9 月の指標から）

県内経済は、足踏み状態となっている（生産はおおむね横ばいとなっている。個人消費は持ち直しの動きがみられるものの、一部に弱さがみられる。雇用情勢は厳しい状況が続いているが、改善の動きがみられる）。

1. 概況

（生産）

鉱工業生産指数は 2 か月ぶりに低下した。【図 1】

（消費）

大型小売店販売額（既存店調整値）は前年同月を 26 か月連続で下回った。【図 2】

コンビニエンスストア販売額（富山、石川、岐阜、愛知、三重の 5 県）は 4 か月連続で前年同月比増となり、家電販売額（中部 8 県）も 4 か月連続で前年同月比増となった。

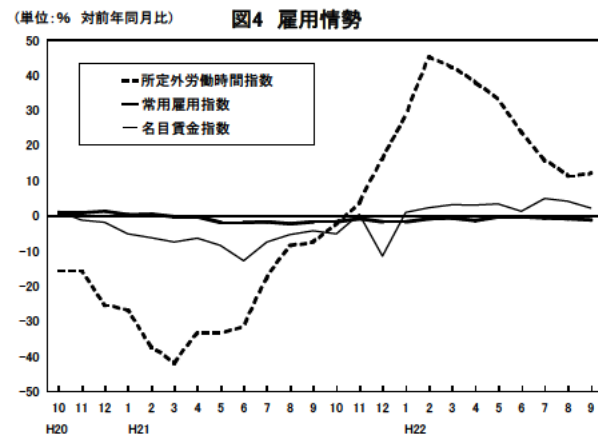
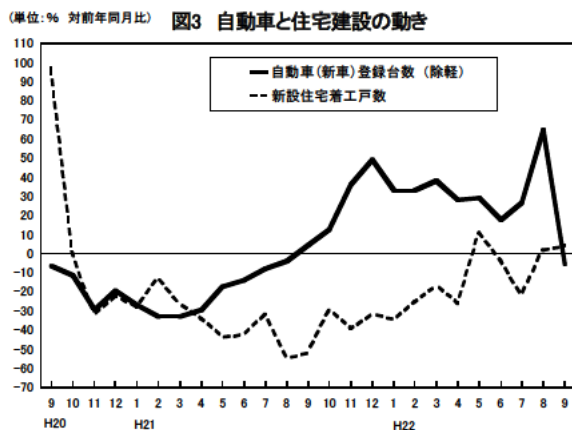
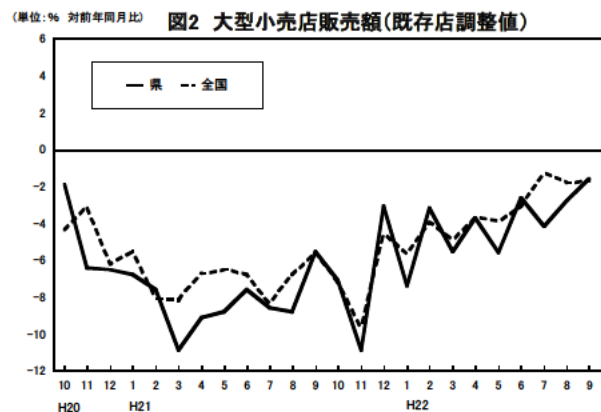
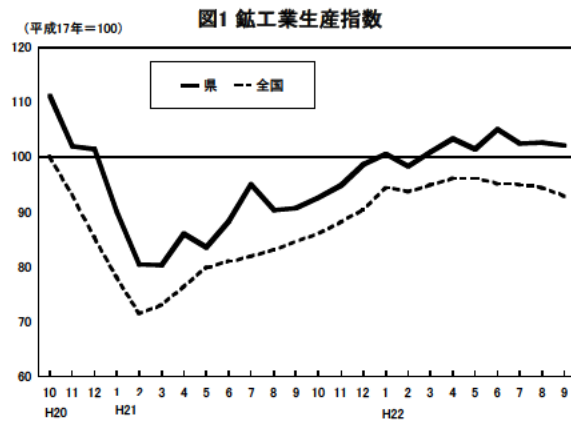
自動車（新車）登録台数（軽自動車を除く）は 13 か月ぶりに前年同月比減となり【図 3】、軽自動車販売台数は 10 か月連続で前年同月比増となった。

新設住宅着工戸数は 2 か月連続で前年同月比増となった。【図 3】

（雇用）

有効求人倍率は 0.62 倍となり、前月を 0.02 ポイント上回った。

所定外労働時間指数は 11 か月連続で前年同月比増、常用雇用指数は 19 か月連続で前年同月比減、名目賃金指数は 9 か月連続で前年同月比増となった。【図 4】



2. 主要経済指標の動き

(1) 生産活動

- ・ 鉱工業生産指数（H17=100）は102.2となり、前月比0.5%減と2か月ぶりに低下した。
- ・ 県内主要3業種では、電気機械工業（旧分類）（128.7）が前月比0.5%増と3か月ぶりに上昇し、化学工業（87.1）も前月比1.9%増と2か月連続で上昇したものの、輸送機械工業（84.2）は前月比4.4%減と3か月ぶりに低下した。
- ・ 鉱工業生産者製品在庫指数（H17=100）は95.5で、前月比1.0%増と4か月ぶりに上昇した。

（※電気機械工業（旧分類）は、日本標準産業分類（平成14年3月改定）の「電気機械工業」「情報通信機械工業」「電子部品・デバイス工業」をまとめたものです。）

	6月	7月	8月	9月
鉱工業生産指数	3.6	-2.4	0.2	-0.5
（電気機械工業：旧分類）	9.2	-9.0	-1.5	0.5
（輸送機械工業）	-4.8	3.8	3.8	-4.4
（化学工業）	-5.5	-0.4	1.1	1.9
鉱工業生産指数（全国）	-1.1	-0.2	-0.5	-1.6
鉱工業生産者製品在庫指数	-2.1	-3.8	-3.4	1.0

(2) 個人消費

- ・ 県内の大型小売店販売額（既存店調整値）は、前年同月比1.6%減と26か月連続で前年同月を下回った。
- ・ コンビニエンスストア販売額（富山、石川、岐阜、愛知、三重の5県）は4か月連続で前年同月比増となり、家電販売額（中部8県）も4か月連続で前年同月比増となった。
- ・ 自動車（新車）登録台数（軽自動車を除く）は前年同月比5.7%減となり13か月ぶりに減少したものの、軽自動車販売台数は前年同月比5.5%増となり10か月連続で増加した。全自動車では前年同月比1.7%減と13か月ぶりに減少した。

（前年同月比：％）	6月	7月	8月	9月
大型小売店販売額（県内既存店）	-2.6	-4.2	-2.8	-1.6
〃（全国既存店）	-3.1	-1.3	-1.8	-1.7
コンビニエンスストア販売額（5県全店）	0.5	3.7	3.8	19.9
家電販売額（8県全店）	3.9	13.6	18.3	20.8
自動車（新車）登録台数（県内）	17.7	26.9	64.5	-5.7
〃（全国）	20.6	15.0	46.7	-4.1
軽自動車（新車）販売台数（県内）	10.7	8.4	24.5	5.5
〃（全国）	11.8	8.6	21.7	4.6
自動車・軽自動車 合計（県内）	14.9	19.9	48.1	-1.7
〃（全国）	17.4	12.9	37.7	-1.2

(3) 住宅建設

- ・ 新設住宅着工戸数は853戸となり、前年同月比4.4%増と2か月連続で増加した。

（前年同月比：％）	6月	7月	8月	9月
新設住宅着工戸数	-3.9	-22.5	1.8	4.4
（参考）（持家）	10.5	2.2	7.5	17.5
（貸家）	-38.8	-53.5	-12.0	-36.9
（分譲住宅）	97.2	-16.2	-7.5	122.0

(4) 公共工事受注（1件500万円以上の工事：発注者別請負契約額）

- ・公共機関からの建設工事受注工事額は244億5千8百万円となり、前年同月比14.4%増と2か月ぶりに増加した。
- ・「国の機関」からの受注工事額は62億7千4百万円となり前年同月比44.8%減と3か月連続で減少し、「地方の機関」からの受注工事額は181億8千4百万円となり前年同月比81.4%増と4か月連続で増加した。

（前年同月比：％）	6月	7月	8月	9月
受注工事総数（県内）	64.7	31.7	-6.3	14.4
国の機関	2.8	-19.6	-71.5	-44.8
地方の機関	87.3	67.2	17.8	81.4
受注工事総数（全国）	-3.4	-15.0	-1.9	-14.7

(5) 雇用情勢

- ・有効求人倍率は0.62倍となり、前月を0.02ポイント上回った。
- ・所定外労働時間指数は前年同月比12.0%増となり、11か月連続で上昇した。
- ・常用雇用指数は前年同月比1.2%減となり、19か月連続で低下した。
- ・名目賃金指数は前年同月比2.2%増となり、9か月連続で上昇した。
- ・完全失業率（全国値）は5.0%で、前月に比べ0.1ポイント低下した。

（※前年同月比：％）	6月	7月	8月	9月
有効求人倍率（三重県、倍）	0.59	0.59	0.60	0.62
"（全国、倍）	0.52	0.53	0.54	0.55
所定外労働時間指数※	23.7	15.5	11.4	12.0
常用雇用指数※	-0.4	-0.6	-0.9	-1.2
名目賃金指数※	1.3	4.9	4.1	2.2
完全失業率（全国）	5.3	5.2	5.1	5.0
（参考）完全失業率（三重県：移行推計値）	4.1（4～6月期）	—	—	—

(6) 企業倒産

- ・企業倒産は16件発生した。負債総額は36億6千7百万円（前年同月比6.5%減）となり、3か月ぶりに前年同月比減となった。

（※％：前年同月比）	6月	7月	8月	9月
企業倒産件数（件）	12	15	8	16
負債総額（％）※	-81.6	409.1	0.7	-6.5

(7) 消費者物価

- ・消費者物価指数（H17=100）は101.1で、前月比は0.1%上昇、前年同月比では0.5%下落した。

（前月比、※前年同月比：％）	6月	7月	8月	9月
消費者物価指数（4市平均）	0.2	-0.6	0.5	0.1
" ※	-0.5	-0.4	-0.5	-0.5
"（全国）	0.0	-0.5	0.3	0.3

3. 景気動向指数 (CI 指数)

- 一致指数（景気の現状を示す指標）は 67.8 となり、前月と比較して 0.5 ポイント上昇した。一致指数からみる県内経済の基調は、改善を示している。

DI 指数は、景気判断の分かれ目となる 50%ラインを 2 か月連続で上回り、57.1%となった。

(※前月差：ポイント)	6月	7月	8月	9月
CI一致指数 ※	2.9	-1.9	0.9	0.5
3か月後方移動平均※	1.2	-0.5	0.6	-0.2
7か月後方移動平均※	2.3	1.1	0.3	0.2
DI一致指数 (%)	85.7	28.6	71.4	57.1

- 先行指数（9 月時点よりも半年程度先の景気を示す指標）は 97.5 となり、前月と比較して 6.8 ポイント下降した。

DI 指数は、景気判断の分かれ目となる 50%となった。

(※前月差：ポイント)	6月	7月	8月	9月
CI先行指数 ※	-1.5	5.4	14.8	-6.8
3か月後方移動平均※	-1.1	2.5	6.2	4.5
7か月後方移動平均※	-2.0	-0.8	2.6	2.1
DI先行指数 (%)	41.7	66.7	83.3	50.0

